

市民協働推進課

■第13回男女共同参画推進市民会議録

日時	平成20年8月25日(木) 午後6時30分～9時
場所	武蔵野商工会館第1・2会議室
出席者 (敬称略)	委員 岩城末子、大橋仁、小澤和彦、小野公一、菅野昭彦、千田有紀、高田素子、林朋子、三上かおり、吉川良子 事務局 男女共同参画担当職員、男女共同参画推進市民会議ワーキングスタッフ 傍聴者 3名
議題	1 提言の基本的考え方 2 各担当より報告書案の発表 3 その他
議事要旨	(事務局) ・「平成20年度武蔵野市男女共同参画に関する意識調査」の回収状況と結果についての説明 (委員長) ・提言の基本的考え方 基本理念と基本目標について (各担当者より報告書案の発表) ・基本目標Ⅰ 男女が共に仕事と家庭の調和を図る環境の整備について 課題Ⅰ－1 男女がともに担う子育てと介護への支援 2 女性の就労とチャレンジ支援 3 男性の地域参加の促進 4 企業の地域貢献の推進

・基本目標Ⅲ 男女共同参画の意識の形成について

(各委員からの意見)

■「男女がともに担う子育てと介護への支援」という課題に対する、施策の方向として「介護・高齢者の支援」が挙げられているが、“介護する家族”への支援と、“高齢者”に対する支援とを、同じ課題の中で考えるのではなく、別の課題の中で考えていくべきではないだろうか。

■支援については、シングルの人、老夫婦など、さまざまな世帯構成の市民に対応するものであるべきだ。

■子育てについて、就学前だけでなく、子離れした後の個人の生き方、子育て後の夫婦の生き方など、最終的にどこかに触れていければいい。

■介護については、家族とケアマネージャーの連携の他、民生委員の関わりも深い。

■「男女共同参画の意識づくり」というのは難しい分野であるが、次世代を育成していくという基本的な考え方に基づく重要な項目であるといえる。

■「まなこ」と「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」の位置づけをはっきりさせた上で、そこにおける提案をするのがよい。

■地域の女性の実践力を高めて活性化につなげるにしても、地域社会にはそれがしたくてもできない人もいるので、そのような人たちについても何らかの形で触れるべきではないか。

(次回以降のスケジュール)

- ・ 報告書案ができたところから発表をし、議論していく。
- ・ 全体の構成や、すり合わせについては、主担当の方々と委員長、事務局で小委員会を持ち、調整していく。

<次回の市民会議>

各担当より、報告書作成の成果を発表していただき、議論していただく。

次回

平成 20 年 9 月 8 日(月) 午後 7 時～
武蔵野商工会館 講座室